

J Aバンク東京における地域密着型金融の取組状況（令和元年度）

J Aバンク東京（都内14 J Aと東京都信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、J Aバンク東京中期戦略（平成31～令和3年度）に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

令和元年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 都市農業等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

（1） 農業融資商品の適切な提供・開発

各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

令和2年3月末時点の農業関係資金貸出残高^(注1)は3,332百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2)残高は278百万円を取扱っています。

(注)

- 1 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。
- 2 J Aバンク東京が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

【営農類型別農業資金残高】（単位：百万円）

	令和2年3月末現在
農業	3,010
穀作	0
野菜・園芸	392
果樹・樹園農業	10
工芸作物	15
養豚・肉牛・酪農	77
養鶏・鶏卵	370
養蚕	0
その他農業	2,144
農業関連団体等	322
合計	3,332

(注)

- 1 「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者および農業サービス業が含まれています。
- 2 「農業関連団体等」には、J Aや全農（経済連）とその子会社等が含まれています。

【資金種別別農業資金残高】

(単位：百万円)

種 類	令和2年3月末現在
プロパー農業資金	3,182
農業制度資金	150
農業近代化資金	150
その他制度資金	0
合 計	3,332

(注)

- 1 「プロパー農業資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金をJAバンク東京が転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンク東京が低利で融資するものを対象としています。
- 3 「その他制度資金」には、農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

(単位：百万円)

種 類	令和2年3月末現在
日本政策金融公庫資金	278
合 計	278

(注) JAバンク東京では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

JAバンク東京は主要な農業関係の制度資金である、「農業近代化資金」について、都内金融機関で唯一取扱いができる金融機関であり、トップシェアとなっています。また、日本政策金融公庫資金（公庫直貸除く）についても取扱っております。

【東京都の農業近代化資金の取扱いシェア】

農業近代化資金 融資残高シェア
(令和2年3月末時点)



(2) 担い手のニーズに応えるための取組み

地域の農業者のニーズに応えるため、JAでは、本支店の農業融資担当者が営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。これを支える体制として、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を、令和元年度末時点で都内14JAの本店に15名・信連本店に2名を設置しております。

また、JA系統独自の農業融資資格制度「JAバンク農業金融プランナー」を導入しており、有資格者は令和元年度末時点で都内に143名在籍しています。農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくことを目的としています。

(3) 農業メインバンクCS調査の実施と結果の活用

JAバンクでは、JAの農業融資に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、お客様満足度の計測（農業メインバンクCS調査）を行っています。

得られた結果を活用しながら、農業者の声により応えることが出来るよう、農業メインバンク機能の一層の強化に取り組んでいます。

2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 次世代農業者の育成支援

新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等の融資商品や新規就農者の育成支援にかかる助成事業として新規就農応援事業（営農支援事業・研修支援事業）を取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】（単位：件、百万円）

	令和元年度 実行件数	令和元年度 実行金額	令和2年3月末 残高
青年等就農資金	10	36	76
その他	0	0	0
合計	10	36	76

【新規就農応援事業の取扱い実績】（単位：件、百万円）

	件数	助成金額
営農支援事業	12	2
研修支援事業	16	6
合計	28	8

(注)

- 1 営農支援事業とは、新規就農者を対象に農業経営にかかる費用に対して助成金を支払う事業です。
- 2 研修支援事業とは、新規就農前の研修生を受け入れている農業者を対象に研修にかかる費用に対して助成金を支払う事業です。

(2) 研修会・セミナー等の開催・参画

農業経営に関する研修会・セミナー等を開催し、担い手の経営力向上に貢献しています。

【令和元年度 研修会・セミナー等開催・参画状況】

研修会・セミナー名	開催日	主催者	参加者	内 容
特定生産緑地制度に関する地区別研修会	令和元年7月12日他	青梅市 共催 JA 西東京	青梅市内 所有者生産 緑地所有者 520名	・特定生産緑地制度について
確定申告事前研修会	令和2年1月31日	JA 西東京 資産管理部会	正・准組合 員及びその 家族 55名	・令和元年度確定申告について
特定生産緑地説明会	令和元年8月5日～6日	羽村市・福生市 JA にしたま	農業者 計 178名	・特定生産緑地制度について
消費税軽減税率制度の実施に伴う税務勉強会	令和元年10月9日	畜産部会 JA にしたま	農業者 8名	・畜産業に関する消費税軽減税率制度について
特定生産緑地指定手続き説明会	令和2年1月29日	福生市	農業者 21名	・特定生産緑地指定手続きについて
新規就農応援支援事業申請書作成講習会	令和2年2月4日・6日	JA にしたま	農業者 計 9名	・新規就農応援支援事業申請書作成について
軽減税率制度研修会	令和元年8月8日	JA あきがわ	農業者 40名	・消費税軽減税率対象品目の説明等
商品表示講習会	令和2年2月19日	JA あきがわ	農業者 40名	・令和2年改正の商品表示法について
生産緑地制度の概要と都市農地の保全	令和元年9月11日	JA 八王子	組合員 681名 全8会場 8日間開催	・生産緑地制度の概要と都市農地の保全
農業経営セミナー	令和2年1月29日	東京都農業法人協会 東京都農業会議 東京信連	農業者等 90名	・売れる農業を目指すマーケティングのポイント ・新たな都市農地制度と情勢について ・持続的な農業経営のための農地の賃借と法人化 ・資金融資事業説明

(3) 農業法人とのネットワーク拡大

東京都農業法人協会とともに「農業経営セミナー」(令和2年1月)を開催し、「新たな都市農地制度と今後の農業経営」と題し、講演会にて労務管理・法人設立の基礎知識等、情報提供を行いました。また、農業法人への土地情報の提供等、金融取引以外の面からも支援等行っております。

(4) 経営不振農家の経営改善支援

負債整理資金の対応等にあたり再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営改善支援に取り組んでいます。

【令和元年度 農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

		期初経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	再生計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A
正常先①		0	0	—	0	—	—
要注意先	うち その他要注意先②	1	0	0	1	—	—
	うち 要管理先③	0	0	0	0	—	—
破綻懸念先④		0	0	0	0	—	—
実質破綻先⑤		0	0	0	0	—	—
破綻先⑥		0	0	0	0	—	—
小計 (②～⑥の計)		1	0	0	1	—	—
合計		1	0	0	1	—	—

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は2019年3月末時点のものです。

3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底 担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 資本供与の取組み (ファンドの活用)

東京都農業法人協会会員や都内農業法人に対し、ファンドを紹介し、農業振興や環境に貢献する取組を行う企業の成長を支援しています。

4 都市農業等地域育成への貢献

地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) 食・農への理解促進

地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、令和元年度には都内の小学校1,346校の5年生を対象に131,076冊配布し、学校の授業等において活用されています。

また、都内JAでは、食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【JAバンク食農教育応援事業による活動内容】

JA名	活動名	活動内容
西東京	あぐりキッズスクール	ジャガイモ等の種まき・収穫
にしたま	親子農業体験教室	さつまいもの植付・収穫
あきがわ	あぐりスクール	親子を対象とした農業体験
八王子	学童農園	農業体験
東京みなみ	夏休みこども村	農業学習、収穫体験
町田市	学童農園施設事業	稲作体験学習
マインズ	農業体験学習	ジャガイモ等の種まき・収穫
東京みどり	稲作体験学習	稲作体験
東京みらい	地場産野菜収穫体験	さつまいも収穫体験
東京むさし	学童農園	収穫体験発表、収穫物の展示
東京中央	屋上田んぼ教室	田植え、稲刈り
世田谷目黒	給食から学ぼう	地場産野菜（大根）の提供 区内の農業について学ぶ
東京あおば	夏休みこども村	自然体験、農業体験、生活体験
東京スマイル	学校給食への食材提供	地場産野菜（小松菜）の提供

(2) 生産者と消費者をつなげる場の設置

生産者と消費者をつなげる交流イベント「東京農林水産フェア」（令和元年10月26日）において共催企業として参加・協力しております。

都市農業の発信を目的とした当会主催イベント「東京に潜む自然～TAMAS HIMA～」（令和元年8月6日～10日）と題し、特産品の紹介・販売を行い、東京農業の存在や魅力を発信しました。



以上